

■ミラノ万博、ついに開幕！ 日本館開館式を開催

2015年5月1日、ミラノ万博がついに開幕しました！ 10月31日までの184日間、万博としては史上初めて「食」をテーマに開催されます。

日本館では、11時（現地時間）より開館式を行いました。冒頭、櫻庭英悦 農林水産省食料産業局長より「日本とイタリアの両国の素晴らしい食を世界に発信することが万博の成功につながる。世界中の皆様の来館をお待ちしている」とご挨拶。続いて寺澤達也 経済産業省商務流通保安審議官は「多くの皆様のご協力で日本館が無事完成することができた。日本館の魅力を感じていただき、皆様には日本館をPRしていただきたい」と、開館の喜びと意気込みを述べられました。また、来賓の梅本和義 駐イタリア日本国大使、萬歳章 JA全中会長、マリオ・マントヴァーニ ロンバルディア州副知事らのほか、日本館特別大使のハローキティが着物スタイルで登場しテープカットを行いました。協賛団体・企業、日本館サポーター等の皆様にも多数参列いただき、開館を華やかに祝いました。イベント広場では茶道裏千家 千宗室家元が点てられたお茶を振る舞っていただき、日本の食文化をアピールしました。

□開館式についてのプレスリリースは以下よりご覧いただけます。
http://www.expo2015.jp/news/pdf/press_release_150501.pdf

・ミラノ万博開幕式も開催

ミラノ万博開幕式は、12時（現地時間）より万博会場内オープン・エア・シアターで開催されました。会场上空には赤・白・緑の煙によりイタリア国旗を描いた航空機が登場。式典にはレンツィ首相をはじめ各国要人が参列し、万博の成功を祈りました。



日本館開館式、コシノジュンコ氏デザインの「菰樽（こもたる）」もお披露目



ミラノ万博開幕式

■ 林 農林水産大臣が来館

5月4日には林芳正 農林水産大臣が日本館に来館されました。展示を観覧された後、ブルーノ・パスキューノ ミラノ万博政府代表とともに、コシノジュンコ氏デザインの法被をまとい、イベント広場での裏千家による茶道の実演にご参加。フードコート「Japan. Star Dining.」も視察され、柿安の国産和牛を使用した「すき焼き御前」を試食されました。視察を終えた林大臣は、「日本館が素晴らしいスタートを切ったことを嬉しく思う。日本の食や食文化を最新テクノロジーを駆使して紹介しており、非常に分かりやすく楽しいパビリオンだった。日本館が世界中のお客様を食と文化で魅了することを祈念する」と述べられました。また、パスキューノ政府代表からは、「日本館は信じがたいほど美しく、自然・伝統・革新を表した素晴らしいパビリオンだった。林大臣、日本館関係者に心から敬意を表したい」とご挨拶を頂きました。



菰樽ディスプレイ前



イベント広場にて
(左：パスキューノ政府代表、中央：林大臣)



フードコートご視察

■ 日本館、活況

日本館は連日、最大1時間待ちの行列ができるほどの賑わいを見せています。5月4日発行のイタリアの全国紙「コリエーレ・デラ・セラ」では、最も人気のあるパビリオンとして日本館が紹介されるなど、幸先の良いスタートです。レストランも盛況で、「美濃吉」「Japan. Star Dining.」とも客足が途絶えることなく好評を博しています。イベント広場では5月5日まで裏千家によるイベントを実施。海外の方々の、お茶を点てる姿を興味深そうに見る様子や、着物姿の女性からお菓子とお抹茶を受け取り珍しそうに味わう様子が印象的でした。

